

平成30年7月20日(金) 12973号



## 株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043  
 大阪市北区天満2丁目12番3号  
 ヴィレッジリバー南森町3階E号  
 TEL (06) 6353-7831 (代表)  
 FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001  
 東京都品川区北品川1丁目9番7号  
 トップルーム品川1015  
 TEL (03) 6869-9983 (代表)  
 info@nikkankinzoku.co.jp  
 https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12ヵ月 72,000円(税別) データ 12ヵ月 84,000円(税別)  
 6ヵ月 36,000円(税別) 配信料 6ヵ月 42,000円(税別)

### 使用済みPC回収実績

17年度は41万台

家庭・法人いずれも減少

(一社) パソコン3R推進協会がまとめた2017年度の使用済みパソコン(PC)回収実績は41万台で、前年度に比べ9.1%減少した。

家庭から回収したPCの回収台数は28万9,000台で、対前年度比5.6%減少。うち、リサイクルのための回収は、4.2%減の27万5,000台だった。同協会は、PCの販売が低迷しているほか、一定量が小型家電リサイクル制度での回収に回ったものとみている。

法人から回収したPCは、13.6%減の12万1,000台。うち、リサイクル目的の回収は6.6%減の10万6,000台だった。法人向けPCの販売は回復傾向にあるものの、買い取り等による回収が増えていることが回収量の減少につながっているとみられる。

カテゴリー別資源再利用率は、デスクトップ型PC

17年度PC回収実績(単位: トン)

	リサイクル(再資源化処理)	製品リユース	合計
家庭から廃棄されるPC	27.5	1.4	28.9
	▲4.2	▲26.3	▲5.6
法人から廃棄されるPC	10.6	1.5	12.1
	▲12.4	▲21.1	▲13.6
合計	38.1	2.9	41.0
	▲6.6	▲23.7	▲8.1

下段は前年度比(%) ▲はマイナス

本体が78.2%、ノートブック型PCが62.3%、ブラウン管式表示装置が69.3%、液晶式表示装置が76.7%で、いずれも法定目標値を達成した。

### 6月ニッケル市況動向

在庫減受け一時年初来最高値

米中摩擦懸念から下落へ

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)がまとめた2018年6月のニッケル市況動向は、ロンドン金属取引所(LME)のニッケル在庫の減少で需給ひっ迫感から相場は上昇した一方、米中貿易摩擦への懸念が悪材料となり、下落に転じた。

LMEニッケル相場は1日に1万5,150ドルでスタート、前月から減少傾向にあったLME在庫のさらなる減少やドル安傾向が好感され価格は上昇、7日には年初来最高値の1万5,750ドルをつけた。8日にいったん反落したものの、同日に発表された中国の5月貿易統計が市場予想を上回る結果であったことから、同国の堅調な需要が意識され、11日には小幅に反発した。

中旬に入るとニッケル相場は一時ほぼ横ばいで推移。ただ、18日に発表された中国の鉱工業生産や小売売上高の低調な結果を受け、1万5,000ドルを割り込み1万4,970ドルに下落した。米トランプ政権が中国製品に対する追加関税方針を発表したことを受け、課税対象が非鉄金属製品にも及ぶのではないかと懸念も加わり価格はさらに下落、19日には6月の月間最安値となる1万4,545ドルをつけた。

下旬は、在庫の緩やかな減少等を受けニッケル相場は一時上昇したものの、米中貿易摩擦の激化に対する懸念が改めて売り材料となり、26日には1万4,570ドルまで下落。月末はやや値を戻し、1万4,910ドルで月を越した。

# 故銅・銅滓 アルミ原料

高価即金買入

——ご照会を乞う。

## 森下商店

大阪市西成区南津守7-12-46

TEL (06)6659-5577~8

FAX (06)6659-5579

三菱ケミカル

インドネシアで塩化ビニル樹脂事業

現地企業を買収

三菱ケミカル(和賀昌之社長)は、インドネシアの塩化ビニル樹脂(PVC)コンパウンドメーカーであるPT. ABC Plastindo(本社:インドネシア・タンゲラン)の全株式を買収することを決定した。同社株式を所有する創業者らから2018年8月を目途に取得する。

Plastindo社、インドネシアでPVCコンパウンド事業を展開しており、同社製品は自動車や電線被覆等の産業資材等、様々な分野で使用され、インドネシア市場でも存在感が高まっている。

世界を結ぶ循環流通サービス  
原料から製品まで



銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号  
tel:06-6444-1521~1530

東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地  
tel:03-5282-4800

名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号  
tel:052-571-2005

海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・  
マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

http://www.ogico.co.jp



鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

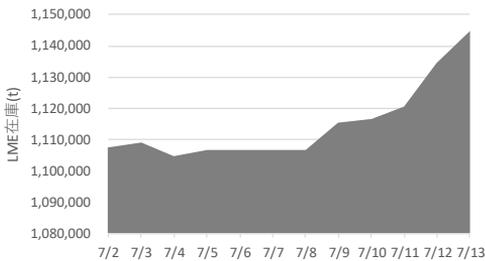
〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中1-16-8  
電話 06-6649-0045 代表

〒556-0011 工場 大阪市浪速区稲荷1-11-5  
電話 06-6561-7331~2

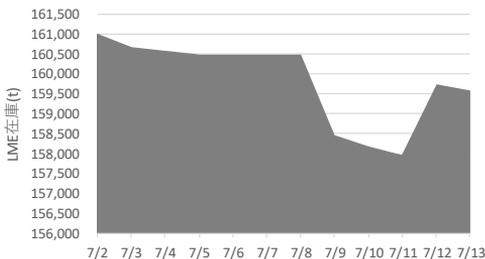
三菱ケミカルの機能性樹脂事業は、M&A等を含む積極的な事業展開を推し進め東南アジア地域には、タイにオレフィン系熱可塑性エラストマー及びPVCコンパウンドの拠点を有し、自動車分野を中心に事業を展開している。同社は、インドネシアに新たな事業拠点の獲得に向けPlastindoの買収を決定。成長著しい東南アジア地域全体で、自動車分野、電線分野等への事業展開を加速させていく方針だ。

LME認定倉庫在庫量推移 2018年7月2日~7月13日(現地)

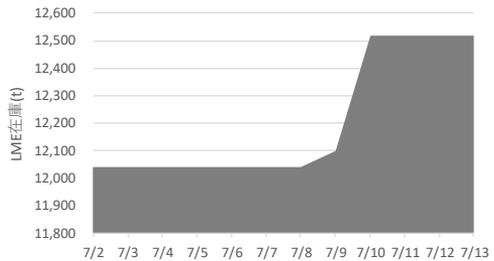
アルミ



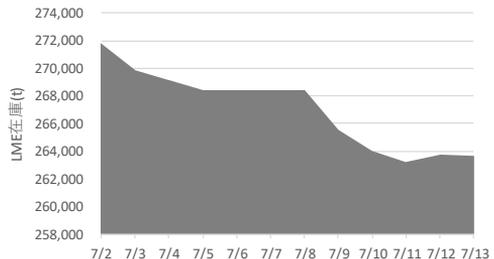
北米特殊



アルミ合金



ニッケル





**インドネシア：政府とFreeport社が  
PTFI株式取引等で基本合意**

2018年7月12日付及び13日付地元メディアによると、インドネシア政府及びFreeport McMoRan社は12日、世界第2位のGrasberg銅金鉱山を操業するPTFI (PT Freeport Indonesia : Freeport McMoRan社の子会社) の株式の過半数を政府が所有することで基本合意に達したと発表した。株式を所有することになる国営鉱業持株会社InalumのBudi G.Sadikin社長とFreeport McMoRan社のRichard Adkerson CEOが同日、基本合意書に調印した。焦点となっていた取得価格は38億5,000万US\$。政府側は最終的にPTFI株式の51.2%を所有することになる。またそのほか、5年以内の国内新規製錬所建設、2041年までの特別鉱業事業許可IUPKへの事業許可の更新、政府所有株式のうち10%をGrasberg鉱山が

位置するPapua州及びMimika県の両地方政府に割り当てること、及び、鉱山のオペレーターは引き続きFreeport McMoRan社とすること等に合意した。なお本件については、保有している権益の売却に応じるRio Tintoも同じく明らかにしている。

本件については、2017年1月の新規規則導入以来、鉱業契約延長交渉(鉱業事業契約(COW)から特別鉱業事業許可(IUPK)への移行)を約1年半行ってきており、インドネシア国内への株式売却、新規国内製錬所建設、鉱山操業継続の長期許可等の点で協議が難航していた。今後は詳細事項についての交渉のステージとなり、正式契約締結に向かうことになる。なお、インドネシア政府内からは7月中もしくは今後2か月以内に交渉完了との見通しが出ている一方、Freeport McMoRan社及びRio Tintoは2018年下半期の間に交渉を完了するとしており、今後の動向も注目される。



**フィリピン：ニッケル鉱石の輸出  
量、2018年は前年より減少の見通し**

2018年7月10日付地元メディアによると、フィリピンニッケル産業協会(PNIA: Philippines Nickel Industry Association)のDante Bravo会長は10日、2018年のフィリピンのニッケル鉱石輸出量が2017年の3,600万wmtから2018年は3,000~3,500万wmtに減少する見通しを述べた。鉱石取引価格の下落及びインドネシアの低品位鉱石輸出緩和措置が原因と見ている。

また同会長は、電気自動車向け需要増及び建設市場の活況による中国の需要増を始めとして世界のニッケル消費量は伸びており、2018年は減少するものの今後数年間は輸出好調が続くとも述べた。なお、フィリピンのニッケル鉱石輸出先は90%が中国で、残りが日本。

**鋳物用銅合金地金**

特殊銅合金各種製造  
砲金くず・ラジエーターくず等

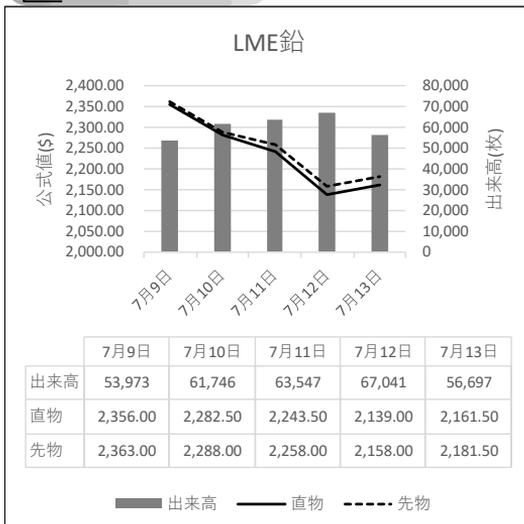


角丁原料全般買受け

**京和ブロンズ株式会社**

京都府久世郡久御山町佐山新開地314  
電話 0774-43-6700(代表)

〰 LME公式値週間推移 7月9日~7月13日(現地)



# 故銅市況

19日入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場の直物前場売値が、前日の6,141.50ドルより73.50ドル安の6,068.00ドル。この日の直物後場買値は、前日の6,136.00ドルより48.00ドル安の6,088.00ドル。カーブ取引は前日の6,151.50ドル～6,152.00ドルより1.50ドル～1.00ドル安の6,150.00ドル～6,151.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（7月限）は、前日の273.95セントより1.25セント高の275.20セント。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（8月限）は、前日の4万8,740元より360元安の4万8,380元。

19日の東京為替市場TTSレートは、前日の114.01円より0.25円の円高ドル安の1ドル＝113.76円。NYカーブLME先物比は61.50ドル高。19日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,068.00ドル。この値と19日の東京外国為替市場USDドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の74万円より1万円安の73万円。この日、電気銅建値は73万円に据え置かれた。

## 為替動向

18日から19日午前にかけての外国為替市場で、円相場は反発した。

18日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は1ドル＝112.70円～112.80円、前日の同時刻比0.10円の円高・ドル安だった。

同日のニューヨーク外国為替市場は、前日比0.07円の円高・ドル安、1ドル＝112.78円～112.88円で取引を終了した。

米商務省が18日に発表した6月の住宅着工件数は前月比12.3%減少、また先行指標である着工許可件数は2.2%減少と、いずれも市場予想を下回った。ニューヨーク市場では、米住宅市況の先行き見通しが不透明として、円買い・ドル売りが出た。一方、米株式市場が続伸し、リスク選好の強さが確認されたことから、

## 故銅直納問屋筋の平均値頃感（単位は千円）

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が595～600、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは576～581、並銅は515～520、込銅（高品位＝約97%）は475、セパは462～467。コーペルは要り用筋で453、それ以外は445ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋448、それ以外431～456どころの値頃。並青銅鋳物削粉は447～452どころ。

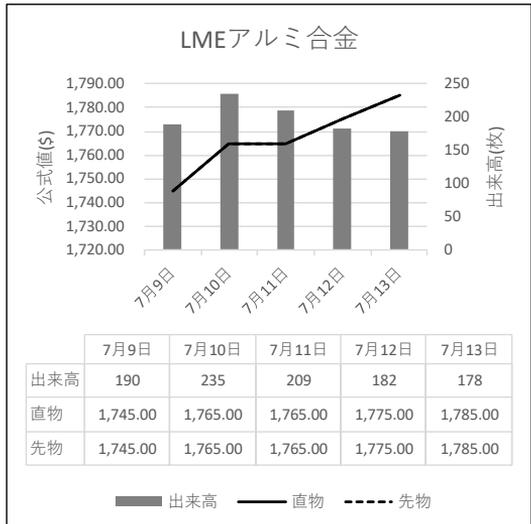
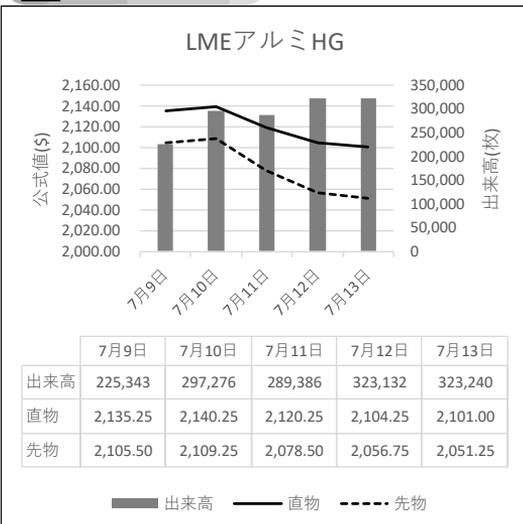
小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が598～603、上銅新くずが565～585、普通上銅が532～542、2号銅線が538～548、並銅が503～504、込銅（90-93%）が462～429、下銅が322～372、セパが429～439、コーペルが385～425、黄銅棒地が441～446、黄銅削粉が389～436、黄銅ラジが340～348、交叉ラジが325～336、黄銅銅鋳物が362～369、送りが200～215、上青銅鋳物が457～473、並青銅鋳物が449～462、上青銅鋳物削粉が454～473、並青銅鋳物削粉が447～451どころ。

持ち高を円買いポジションに傾ける動きは限られた。ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、112.71円～112.96円だった。

19日の東京外国為替市場、午前9時の気配値は1ドル＝112.80円～112.83円、前日の17時時点に比べ0.25円の円高・ドル安。

弱い米住宅統計を手掛かりとした円買い・ドル売りが朝方から先行した。東京市場では、前日に113円台へと円安が進行したことから、一時的に持ち高を調整する目的での円買いも入った。

## LME公式値週間推移 7月9日～7月13日（現地）





**LME銅は下落 現物は7営業日の続落**  
**カーブ取引は小幅で続落 COMEX銅相場は反発 SHFE銅相場は続落**  
**LME非鉄相場はまちまち 鉛、ニッケルは続落 亜鉛は続伸 アルミは下落**

19日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の6,141.25ドルより73.50ドル安の6,067.75ドル。3か月物も、前日の6,175.25ドルより79.25ドル安の6,096.00ドル。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の26万トンより約2,000トン減のおよそ25万7,000トン（丸め込み）。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（7月限）は、前日の273.95セントより1.25セント高の275.20セント。カーブ取引は、前日の6,151.50ドル～6,152.00ドルより1.50ドル～1.00ドル安の6,150.00ドル～6,151.00ドル。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（8月限）は、前日の4万8,740元より360元安の4万8,380元。

米中の関税を巡る軋轢から生じた世界最大の銅消費国である中国経済の先行きに対する根強い懸念と、このところのドル高傾向が、銅相場の大きな下げ要因となっている。LME銅は公式値ベースで7月に入ってから8～9%下げている。

#### 錫は反発

LME錫相場の直物は、前日の1万9,495.00ドルより42.50ドル高の1万9,537.50ドル。3か月物も、前日の1万9,402.50ドルより20.00ドル高の1万9,422.50ドル。

#### 鉛は続落

LME鉛相場の直物は、前日の2,163.75ドルより46.75ドル安の2,117.00ドル。3か月物も、前日の2,183.00ドルより46.00ドル安の2,137.00ドル。

#### アルミ二次合金メーカー買値実勢値

1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

##### 関東地区(7月前半)

2S=203円～211円、63S=200円～204円、アルミホイール(1P)=195円～200円、ビス付サッシ=149円～153円、エンジンコロ=155円～157円、込合金(機械铸件)=151円～153円、缶プレス(ソフト)=118円～133円。

##### 関西地区(7月前半)

2S=198円～206円、63S=196円～200円、52S=208円～212円、印刷版=201円～206円、アルミホイール(1P)=184円～189円、ベースメタル=208円～213円、機械铸件=155円～160円、ダライ粉=127円～132円、ビス付サッシ=150円～155円、缶プレス=136円～141円。

電気亜鉛・蒸留亜鉛販売  
 亜鉛ドロス・滓買入

## 大阪亜鉛工業株式会社

取締役社長 林 昭宏

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃4-14-3

電話 06-6471-2531～5

FAX 06-6471-5781

東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花2-4-5

電話 03-3618-2351～2

#### 亜鉛は続伸

LME亜鉛相場の直物は、前日の2,547.75ドルより34.75ドル高の2,582.50ドル。3か月物も、前日の2,521.50ドルより35.75ドル高の2,557.25ドル。

#### アルミは上伸 アルミ合金はまちまち 北米特殊アルミ合金は続落

LMEアルミ相場の直物は、前日の2,109.75ドルより70.75ドル安の2,039.00ドル。3か月物も、前日の2,064.75ドルより40.75ドル安の2,024.00ドル。LMEアルミ合金相場の直物は、前日の1,800.00ドルより25.00ドル安の1,775.00ドル。3か月物は、横ばいの1,780.00ドル。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,680.50ドルより13.00ドル安の1,667.50ドル。3か月物も、前日の1,707.50ドルより7.50ドル安の1,700.00ドル。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前日のおよそ117万5,000トンより約2万4,000トン増のおよそ119万9,000トン。

#### ニッケルは続落

LMEニッケル相場の直物は、前日の13,455.00ドルより142.50ドル安の13,312.50ドル。3か月物も、前日の13,552.50ドルより110.00ドル安の13,442.50ドル。

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>

LME公式値（単位：ドル）／7月18日（現地）

	銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公式値	6,067.75	19,537.50	2,117.00	2,582.50	2,039.00	1,667.50	13,312.50
	前営業日比	▲ 73.50	42.50	▲ 46.75	34.75	▲ 70.75	▲ 25.00	▲ 142.50
先物	公式値	6,096.00	19,422.50	2,137.00	2,557.25	2,024.00	1,700.00	13,442.50
	前営業日比	▲ 79.25	20.00	▲ 46.00	35.75	▲ 40.75	0.00	▲ 110.00

(7月19日 入電・現地 7月18日)

海外非鉄金属相場

1 ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: Item, 前買, 場売, 後買, 場売. Rows include 銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

NYコメックス相場

出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: Item, 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows include 7月限, 8月限, 9月限, 10月限, 11月限, 前日比, 出来高.

採算価格

フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートにて換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows include 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

フリー・マーケット

米国生産者価格

Table with columns: Item, Price. Rows include 銅(セント/ポンド), 銀(セント/オンス)HH社.

NY相場

Table with columns: Item, Price, Change, High. Rows include 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド).

ロンドン相場(ドル)

Table with columns: Item, Price, Change, High. Rows include 金(オンス), アンチモン99.6%(トン), ビスマス99.99%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.97%(キロ), セレニウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(MTU単位), タンタル鉱石30-35%(ポンド).

KLTM錫(Mドル/キロ、出来高トン)

Table with columns: Item, (18日), (19日). Rows include 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ.

LME在庫(トン)

Table with columns: Item, 在庫, 増減. Rows include 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊AL合金, ニッケル.

コメックス銅在庫(トン)

Table with columns: Item, Price, Change, High. Rows include 上海在庫(トン), 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛.

NYカーブ

Table with columns: Item, Price, Change, High. Rows include 銅, アルミ.

上海相場

Table with columns: Item, 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛. Rows include 8月限, 9月限, 前日比, 出来高.

**非鉄金属製品相場**

(7月19日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京
銅小板2.0ミリ	950	980	亜鉛板0.3×3×7	620	620
建築用0.3ミリ	960	990	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800
銅大板2×1×2	1120	1180	給水管13ミリ	310	310
銅管(ベース)	1140	1160	鉛板1.5ミリ	340	340
水道用管(m当たり)13ミリ	820	840	鉛線3ミリ	465	475
銅棒25ミリ	930	970	<b>軽圧品(仲値)</b>	大阪	東京
銅条1.5×100	940	960	アルミ箔0.007ミリ	945	1005
銅線0.9ミリ	1010	1040	〃 小板1ミリ	520	510
銅帯6×50	930	980	〃 大板1ミリ	510	500
銅平角線	1210	1200	〃 5052板	650	550
黄銅小板2.0ミリ	810	830	〃 5083板	665	565
〃 0.3ミリ	830	830	〃 2017板	1035	925
黄銅大板2×1×2	980	1030	〃 線3ミリ	645	560
黄銅管	1360	1300	〃 快削棒25ミリ	785	780
復水器用黄銅管	1355	1355	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760
黄銅棒快削25ミリ	680	680	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720
六角棒	720	710			
四角棒	750	740	<b>貴金属(一般小口向け)</b>		
鍛造用	730	720	白金(グラム)	◎ 3315	
ネーパル	820	820	パラジウム(グラム)	◆ 3655	
高力	820	820	金(グラム)	◆ 4854	
黄銅線6ミリ	1005	1035	銀(キログラム)	◆ 63930	
黄銅平角線ロール仕上	1210	1250			
黄銅条1.5×100	795	825	<b>レアメタル輸入価格</b>	5月通関 (CIF)	
リン青銅板一般用1.0ミリ	1980	1960	金属ケイ素(99.99%未満)	256	
〃 バネ用0.3ミリ	2200	2170	モリブデン酸化物	2193	
リン青銅棒25ミリ	2240	2250	タンタル	35353	
リン青銅線3ミリ	2420	2400	マグネシウム	260	
洋白板一般用1.0ミリ	2860	2810	コバルト	9650	
〃 バネ用1.0ミリ	3030	2990	インジウム	34604	

合金鉄	5月輸入単価 (CIF)
フェロマンガン2%以上炭素含有	147
〃 その他	176.9
フェロシリコン55%以上	160
フェロクロム4%以上炭素含有	161.7
フェロモリブデン純分60%以上	2124
フェロバナジウム	5676
フェロニッケル33%未満	432.7
電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326

減摩合金	7月17日改定	銅合金地金	7月17日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪 東京
1種	2710	BC 1種	825 -
2種	2635	2種	995 -
3種	2565	3種	1040 -
4種	2265	6種	885 -
5種	2190	7種	920 -
7種	915	YBSC 3種	740 -
8種	825	LBC 3種	1005 -
9種	745	PBC 2種	1060 -

